

それぞれの形で社会参加している
「人」をクローズアップ



あみいこ防災教室講師【千葉センター】
防災で地域づくり、街づくり、トづくり

池江さんは稲毛区黒砂地域で長年防災活動を繰り返し広げてきました。多くの人に参加してもらうために、誰でもが使える防災の仕組み*を提案して仲間たちと一緒に活動しています。

※★マニュアルBOX

誰でも避難所業務ができるように、「初動受付」「トイレ」「救護」など、役割別に分けた箱にはマニュアルや必要資材が入っていて、何をしたらいいか一目でわかります。

★無事ですタオル

災害の際、この黄色いタオルを各家庭が玄関先に掲げて無事を知らせることで、安否確認が容易にできます。

Q. この活動を始めたきっかけは？

「マニュアルBOX」の元となった「夢の箱」。2004年に開講した緑町中学校地域の子ども講座「夢の箱」で、“命を守る”をテーマに防災活動を始めました。翌年からは周辺自治会を巻き込んで「地域の防災力を高める」ための活動が始まり今に至ります。

Q. 活動内容や思うことは？

2010年から「無事ですタオル」の安否確認声かけ訓練を実施し、現在では年2回、小学校区地域全体が黄色のタオルに染まり連帯感を育てています。(写真上)

東日本大震災の翌年2012年からの「マニュアルBOX」を活用した「みんなで避難所開設訓練」では、避難所を拠点に地域全体の防災力UPに重点を置くようになりました。この訓練で多くの方々が行動体験することで、マニュアルをみんなで管理しアップデートしていくことにつながり、震災12年の今も続く原動力となっています。(写真下)



自助の延長線上に共助があり、共助は自助に支えられています。自分事として行動・体感すること、そしてベースの活動の継続と、そこに加える新たな企画の仕掛け「飽きない防災」はみんなの防災の肝です。地域役員の活動はまさに平時の備えです。行動してみると家庭も避難所も備える意味も課題も明確になります。

Q. あみいこの講師をした感想は？

今回の防災教室では、企画スタッフの並々ならぬ熱意に接し、私の話が行動につながるという手応えを強く持ちました。机上の学習が地域全体を巻き込んだ具体的な動きになるには、今動こうとする人の強い想いとエネルギーが必須です。街ねっこの法人としての使命感が、周辺の人々を結び核になってくれることを願ってやみません。

5/17(水)・6/21(水)
10:00~
教室開催します！



▲池江真理さん



各センターで人材大募集！
あなたの魅力を貸してください。

ボ ボランティア 参 参加者 仕 仕事 場 場所利用

【八街センター】 Tel 043-440-0181

- ・買い物バス ボ 運転手
- ・風の杜ひろば ボ 草取り
- ・子育てサロン ボ 参 運営スタッフ
- ・喫茶アルルカン・風のロッジ ボ 参 運営スタッフ
- 場 活動グループ

【柏センター】 Tel 04-7170-0939

- ・ふれあい健康麻雀教室 参 参加者
- ・生活支援サービス 仕 ケア者

【千葉センター】 Tel 043-290-8017

- ・地域食堂 ボ 参 調理や運営スタッフ
- ・こどもカフェ ボ 運営スタッフ
- ・生活支援サービス 仕 ケア者
- ・あみいこ ボ 麻雀イストラクター 参 講座参加

各センターにお問い合わせください

お知らせ

- ◆子ども食堂「くれよん」 【要予約 Tel 04-7170-0939 小口】
毎月第3土曜日 11~13時 生活クラブ風の村光ヶ丘よってって
- ◆地域食堂「みんなのテーブル」 【要予約 Tel 043-290-8017 北田】
毎月第2金曜日 17時~18時半。 いなげビレッジ地域活動スペース虹



いま、
ボランティアしたい人が
増えています！



リモートばかりで
人とのつながりが
減ってしまった。
直接かかるとの機会がほしい



退職したので、
何かできることは
ないが



困っている人の
役に立ちたいけど、
何をしたらいいか
わからない。



仕事以外の時間で
地域の人と
関わりたい

ここ数年、街ねっとには、こんな理由で
「ボランティアをやりたい」という問い合わせが増えています。

ボランティアしたいけれど、何を、どのようにしたらいいかわからない人が多い

文部科学省のボランティア活動に対する国民の意識調査によると…

「ボランティア活動に対する国民の意識の概況」
(文部科学省 next.go.jp)より

過去5年間で何らかのボランティアに
参加したことがある
約3人に1人

参加のきっかけは
自発的な意思で
49%

ボランティア活動への参加に
興味・関心がある
8割以上

どのようなボランティアをしたいか
まだ分からない
半数以上



どんな活動が
あるの？

どこに相談
したらいいの？

その他には
・自治会や子ども会等で機会を与えられて
・友人や知人に勧められて
・学校で参加する機会を与えられて など

街ねっとなら適切なコーディネートができます

街ねっとは、生活クラブ・ボランティア活動情報センター(VAIC)のころから約20年にわたってボランティアコーディネートに取り組んできました。あなたのボランティアしたい気持ちをお聞かせください。あなたの想いに沿って丁寧にコーディネートします。

▶▶ 次ページでは、多くの活動の現場に、どのようにボランティアをつないでいるのかをご紹介します。

～街ねっとが考えるボランティア像～

- ・自分の意志で始めます
- ・活動に対して責任を持ちその役割を果たします
- ・共感を活動のエネルギーにします
- ・金銭によらないやりがいと成果を求めます
- ・活動を通して自らの新たな可能性を見出します
- ・活動に新しい視点や提案を示します



特定非営利活動法人(認定NPO法人)
コミュニティケア街ねっと
【発行責任者: 岩上 章子】

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町1107-7
【Tel】043-290-8015 【Fax】043-290-8016
【E-mail】info@ccmachinet.jp
【URL】https://www.ccmachinet.com
2023年4月発行



街ねっとは、千葉・柏・八街の3拠点で、それぞれのニーズに応じた事業を展開し、地域に密着した活動をしています。

「地域コーディネーター(以下 CO)」を中心に、出会いの場をつくり、人と人をつないで交流や活動を生み出しています。このネットワークを活かして、地域 CO が今までたくさんのボランティアを地域につないできました。



コーディネート基本指針

ボランティアに真摯に向き合います

- ・ボランティアの意志を確認し、希望を尊重します
- ・ボランティアの経験や関心、活動動機を尊重します
- ・ボランティアの力や可能性を信じます
- ・ボランティアの意見や考え方を受け止め活かす姿勢を持ちます
- ・ボランティアと CO は対等であるという自覚を持ちます
- ・ボランティアの活動の成果と課題を共有し、ともに考える姿勢を持ちます

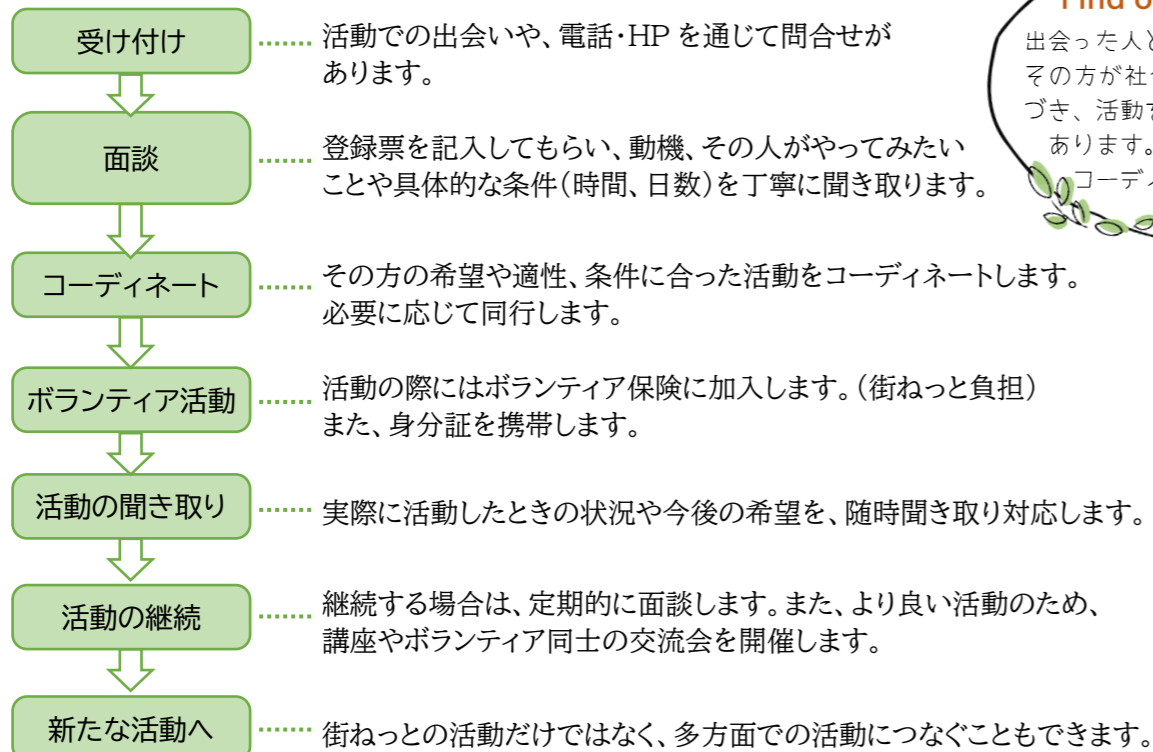
年間活動のべ約200名

こんな方が活動しています

- ・会社勤めをリタイアされた方
- ・学生、主婦など
- ・社会にでるきっかけを作りたい方
- ・障害を持った方やひきこもりなどで社会から離れていた方が自立を目的として

コーディネートの流れ

初めての方でも不安のないようにサポートします



Find out コーディネート

出会った人と話をしているうちに、その方が社会貢献できることに気づき、活動をお勧めする場合があります。地域 CO ならではのコーディネートといえます。

ボランティアに興味ある方はお問い合わせください

- | | | |
|--------|------------------|--------------|
| 千葉センター | 043-290-8017(北田) | ★HP から |
| 柏センター | 04-7170-0939(竹中) | お問い合わせいただけます |
| 八街センター | 043-440-0181(富永) | |



千葉センター
北田



地域食堂「みんなのテーブル」

一人ひとりが役割を担って集いの場をつくる

コロナ禍で中止になっていた地域食堂が、この1月から再開。ボランティア募集には38名の応募がありました。いろいろな人と一緒に調理する、参加者と話しをする、会場の準備をする、後片付けをする、キッチン掃除をする…。参加者もボランティアも、美味しい食事と楽しい会話に笑顔が絶えません。ボランティアの一人ひとりがいるからこそ開催でき、人とのつながりを実感する地域の居場所になっています。



私が出会ったボランティア

コロナ禍でもボランティア

長年、プロの先生の指導で植物画を描いているIさん。

♥♥コロナ禍で仲間と一緒に描くことも、展覧会への出品も中止になりました。家に眠っている絵を活用してくれませんか？

…の相談に、早速コーディネート。風の村いなげの玄関ホールなどに絵を飾らせてもらい、多くの人に楽しんでもらう…これもボランティアです。施設からも部屋や玄関ホールが明るくなったと好評です。

柏センター
竹中



算数教室「単元王」

小学生への学習支援

「コロナ禍で不登校や学力の低下が増えている」との元小学校教師の思いを受けて2021年11月から開始。現在は元小学校教師3名が講師として、近隣に住む3名が見守りとマル付けとしてボランティアをしています。

年度初めに単元ごとのミニテスト1万枚を準備して、2年生のレベルからスタートします。講師が一人ひとりの状況に寄り添い、マル付けのボランティアも励ましながら進めているので、「算数がわかるようになった！」とうれしい声が届いています。



私が出会ったボランティア

生き方に影響したボランティア経験

HP から相談があった大学生。入学以来、講義もほとんどオンラインで、3年になって人との関わりが必要だと思い、施設での傾聴や地域の居場所などでのボランティアを体験しました。

♥♥人と関わることの楽しさややりがい、家族でもない、友だちでもない、でもほっとする。これからの人生で、自分は何を大切にしたいかがわかった。

…と教えてくれた彼女が選んだ仕事は不動産の仲介。「人生に寄り添う仕事だから」と。

八街センター
富永



フードパントリー

必要とする家庭に食材を届ける

「風のロッジだれでも食堂」で活動していたボランティアスタッフが、継続して「フードパントリー」で活動しています。食堂の活動ではなかなか見えなかった貧困や親子の問題、お願いしたルールを守らない親に対して、最初はどうか対応したらよいか戸惑いました。でも地域を知り、自分の価値観と向き合うチャンスととらえて、一緒に悩み話し合いを重ねました。最近ではスタッフそれぞれが住んでいる地域に目を向けて、必要な家庭に食材を届けたり子供会スタッフに呼び掛けたりしています。彼らが地域を変えていくと信じています。



◀手にしているのは、食材と一緒に配布する栄養満点おにぎり

私が出会ったボランティア

障がい者のボランティア

数年間、「高次脳機能障がい者のボランティア活動」を支援しました。受入施設、CO、活動をサポートするボランティアが医療機関と連携して活動を進めました。

♥♥いつもは「すみません、お世話になります」と言うのが当たり前の日常の中で、人から「ありがとう、楽しかったよ」と感謝される場面がとっても新鮮で嬉しかった。私は障がい者Aではなく、Aの特性の一つが障がいだけ。…という言葉が印象的でした。